

報道関係各位

環境対応型収縮フィルム「GEOPLAS® HCR1 24μm/35μm」を販売開始！ -収縮ラベルの水平リサイクルを新技術で実現-

Gunze株式会社（本社：大阪市北区、社長：佐口 敏康、以下「Gunze」）は、ハイブリッド収縮フィルム「GEOPLAS® HCR1 24μm/35μm（ジオプラス® エイチシーアールワン）」を、2025 年 12 月から販売開始いたします。本製品は、ラベル端材を回収して水平リサイクルした脱墨※原料を配合し、環境負荷を抑えながら多様なボトルに装着できる設計が特長です。

※印刷加工を施したフィルムなどから、インキや接着剤成分を除去すること。

1. 背景

世界的に脱プラスチックの動きが進む一方、生活の利便性や衛生性などの観点から、プラスチックの有用性が改めて注目されています。こうした状況下で、プラスチックを廃棄せず循環させるための技術開発やリサイクルスキーム構築の重要性は一層高まっています。

Gunzeでは、基幹工場である守山工場を、自然エネルギー活用による CO₂排出量の削減と、資源循環を軸としたサーキュラーファクトリー®化により、廃プラスチックを出さない工場へと転換してまいりました。

2. リサイクルにおける課題

プラスチックフィルムのリサイクルは、材料特性や回収ルート、コストなどの制約により、これまで本格的な導入が進みにくい状況にありました。なかでも一般的な「マスバランス方式」は、製品の一部にリサイクル由来の価値を割り当てる手法であるため、その証明には第三者認証が必須となるなど、実装上の課題が残っていました。

こうした背景を踏まえ、Gunzeはリサイクル工程の効率化に寄与する新たな脱墨技術確立し、この技術を活用した環境配慮型ハイブリッド収縮フィルム「GEOPLAS® HCR1」を、販売開始いたします。本製品は、収縮ラベル市場におけるバージンプラスチック使用量の削減を実現するとともに、使いやすさと機能性を両立した環境対応型ソリューションです。



GEOPLAS®HCR1 および脱墨処理した再生原料

3. GEOPLAS® HCR1 の特長

- (1) 水平リサイクル原料の使用…顧客から回収したラベル端材を脱墨処理した再生原料を使用
(製品厚み 24μm 製品 1%、35μm 製品 5% 使用)。
- (2) 優れた収縮性…最大収縮率が 74%。収縮仕上がりが良好で、異形ボトルにも対応可能。
- (3) 良好なミシン目適性…ミシン目に沿って容易に剥離でき、分別性が向上。

4. 今後の展開

ガンゼは、リサイクル率を順次高め、2030 年にはリサイクル率 100% の実現を目指しています。合わせて、製品厚みのラインナップ拡充を進め、食品・トイレタリー市場など、用途のさらなる広がりに対応してまいります。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

報道関係の方からのお問い合わせ

ガンゼ株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報 I R 室

(大阪) TEL:06-6348-1314 (担当/野中、古市)

(東京) TEL:03-4485-0001 (担当/前川)

お客さまからのお問い合わせ プラスチックカンパニー TEL: 06-7731-5800 (営業統括部)

■ガンゼプラスチックカンパニーホームページ <https://www.gunze.co.jp/plastic/>